



特集

指導者間の連携で 基礎と臨床の ギャップを埋める

看護学生をスムーズに臨床へと移行させる方策の1つとして、附属病院を持たない基礎教育機関と病院が連携して、人事交流や合同研修に取り組んでいる4事例を紹介する。この連携により、実習の質向上や看護職員の確保・新人の定着、教育担当者のスキルアップや中堅看護師のモチベーション向上など多くのメリットが期待される。病院と学校の関係深化に留まらず、病院同士の横のつながりも生むこれらの試みは、基礎と臨床の連携を加速するものである。本企画は『看護教育』11月号と連携し、弊誌では臨床側の視点、『看護教育』では基礎教育側の視点から、基礎と臨床の連携という共通のテーマを取り上げる。合わせてご覧いただきたい。